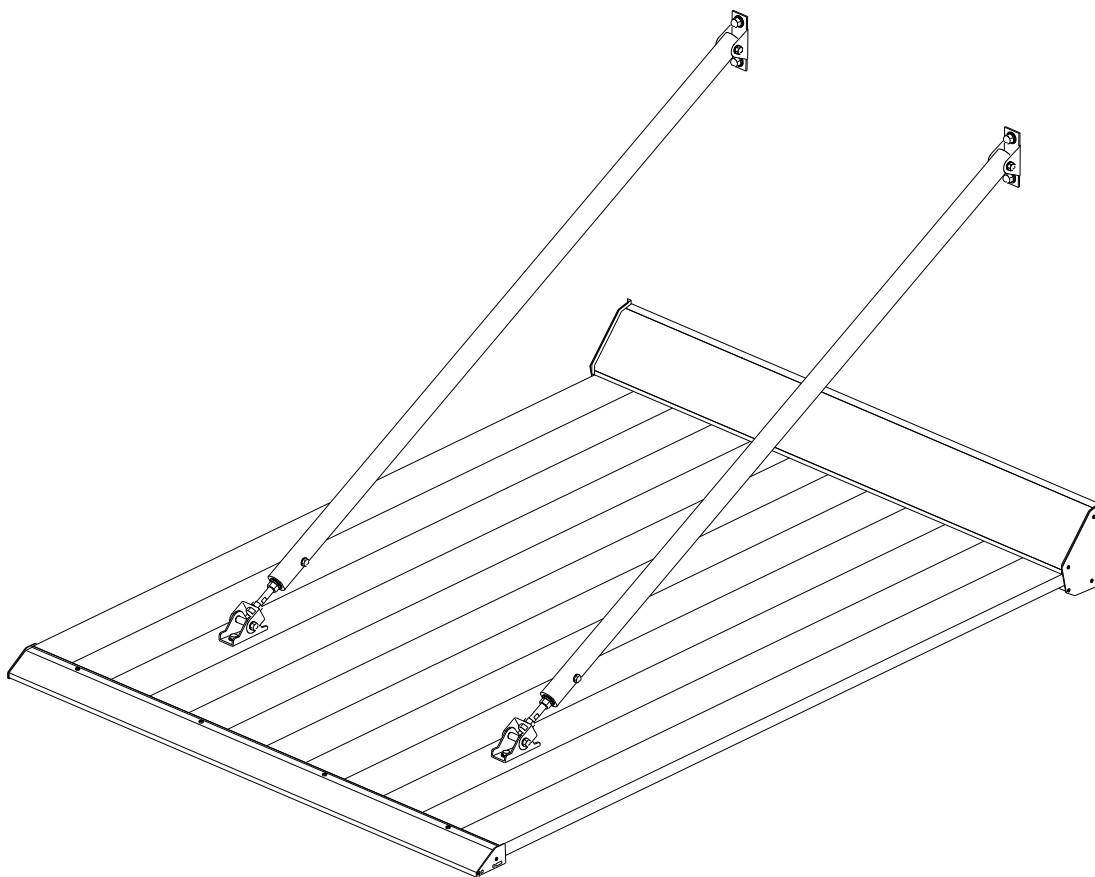


アルミひさし アイラッシュ 取付説明書

前勾配ひさし スリムシリーズ アームタイプ (EVF2001-3000)

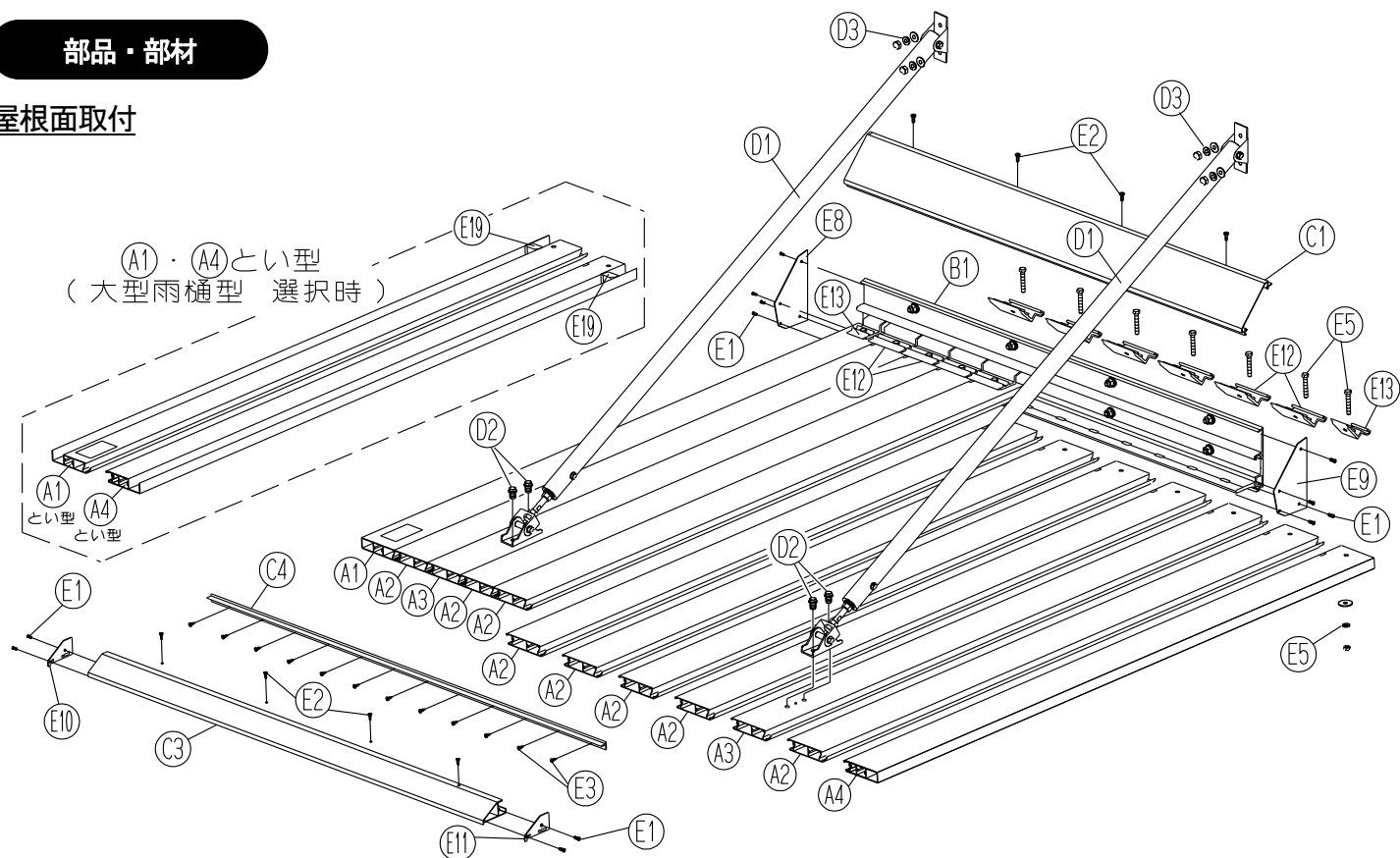


注 意

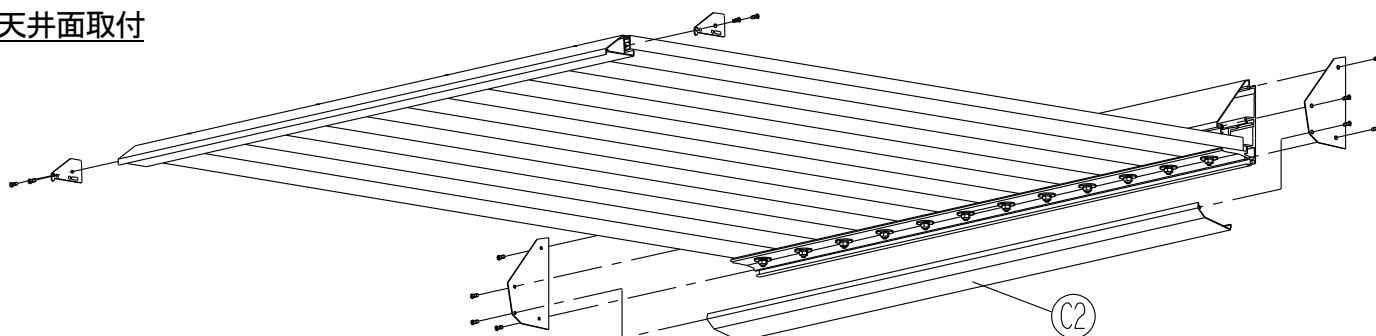
- 安全のため、付属部品以外での取付はやめてください。
- アンカー(オプション)にて確実に取り付けてください。
- 製品の小口は鋭利になっておりますので取扱に御注意ください。
- 製品寸法が長い場合は取り回しに御注意ください。
- 無理な体勢での施工は落下の原因となりますので御注意ください。

部品・部材

屋根面取付



天井面取付







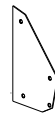








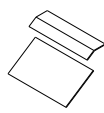
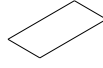

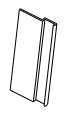


梱包部品一覧

本体	A-1	A-2	A-3	A-4
	 庇本体(左) または(左-とい型)	 庇本体(中央部)	 庇本体 (中央部-アーム取付)	 庇本体(右) または(右-とい型)

部材1	B-1
	 ベースフレーム

部材2	C-1	C-2	C-3	C-4
	 ベースカバー(上)	 ベースカバー(下)	 先端カバー (C, D, W タイプ)	 カバーフレーム

アーム	D-1	D-2	D-3
	 吊りアーム	 座金組込みボルト (M8 x 25)	 袋ナットセット (M10)

部 品	E-1	E-2	E-3	E-5	E-8	E-9	E-10	E-11
							 画像はDタイプ	 画像はDタイプ
	皿タッピンねじ (4×12)	なべドリルねじ (4×13)	パインドタッピン ねじ(4×16)	ボルトセット (M8×50)	ベースフレーム 小口フタ (左)	ベースフレーム 小口フタ (右)	先端カバー 小口フタ (左) (C, D, W タイプ)	先端カバー 小口フタ (右) (C, D, W タイプ)
	E-12	E-13	E-14	E-15	E-16	E-17	E-18	E-19
						 画像はDタイプ		 ※A-1, A-3 に同梱
	ベースアングル (中央部)	ベースアングル (端部)	※皿ドリルねじ (4×13) (W タイプのみ)	※皿ドリルねじ (4×13) (落下防止ねじ)	※水密材 (L=50mm)	※先端カバー ジョイント (C, D, W タイプ)	※ブチルテープ (C, W タイプのみ)	ふさぎ部品 (W タイプのみ)
	E-20	E-21						
								
	※ベースカバー (上)ジョイント	※ベースカバー (下)ジョイント	取付説明書 (本紙)					

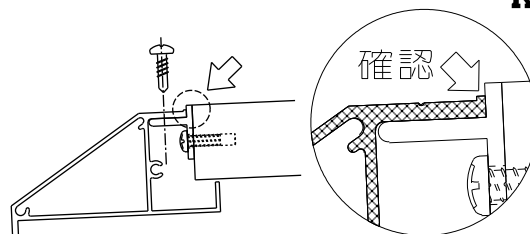
※ W=4100 以上時

▲注意事項▲

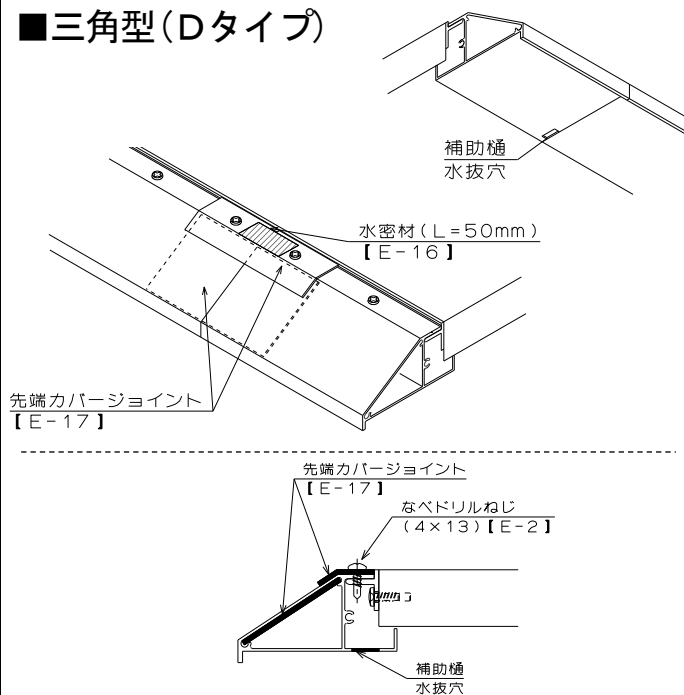
先端形状が大型雨樋型(Wタイプ)の場合、庇本体(左・右)【A-1・A-3】の形状が「とい型」となります。

▲注意事項▲

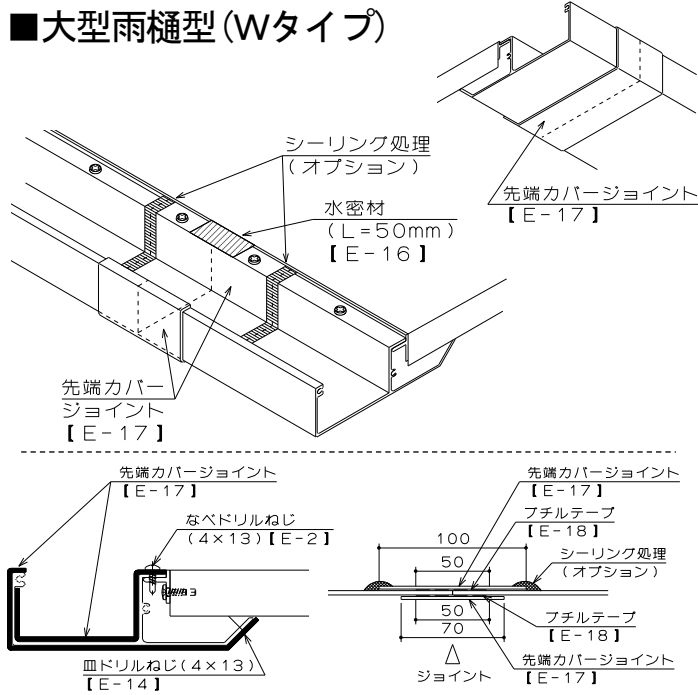
先端カバーがカバーフレームの側面に当たっていることを確認してから、取付を行ってください。



■三角型 (Dタイプ)



■大型雨樋型 (Wタイプ)



参考納まり

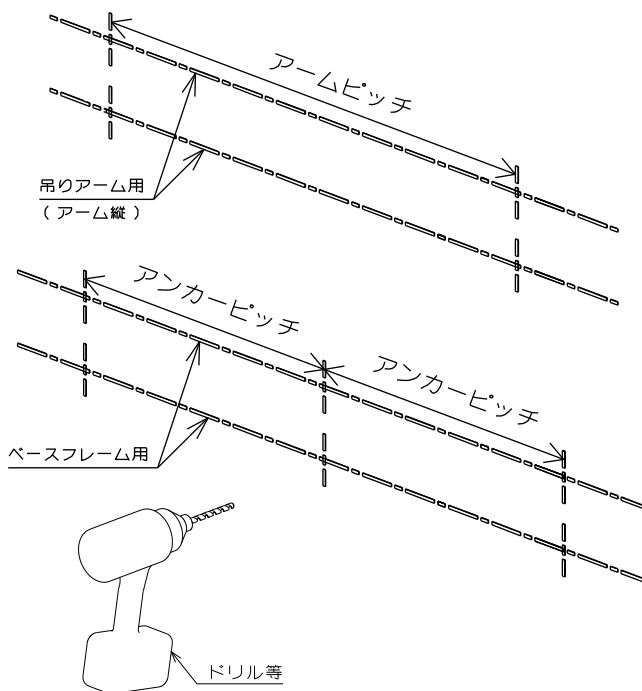
■標準仕様

記号	RC	ALC	押出成形セメント板	鉄骨	木造
EVF (アーム縦) D:2001 ~ D:3000					

■オプション仕様 座板付ナット

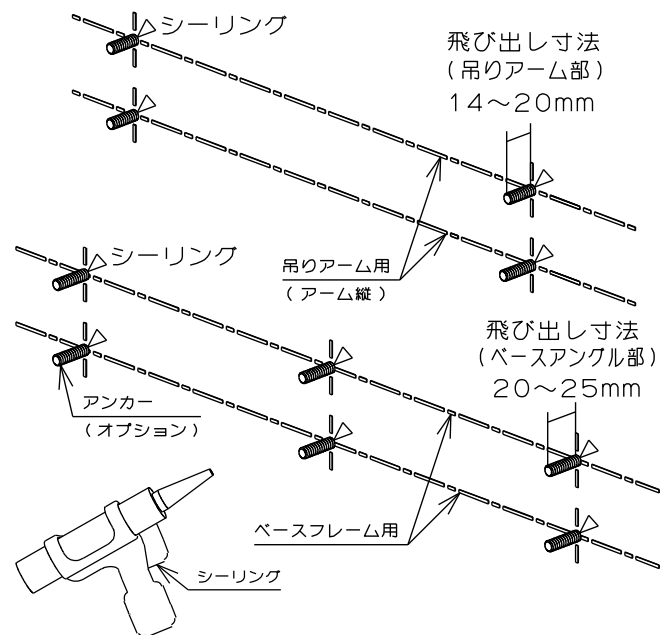
記号	ALC	押出成形セメント板	鉄骨	木造
EVF (アーム縦) D:2001 ~ D:3000				

- ① ベースフレーム・吊りアームの取付穴に合わせ、墨出しを行います。アンカー・アームピッチについては別紙をご確認ください。



- ② 躯体にあったアンカー（オプション）を取り付けます。躯体とアンカーの隙間をシーリングしてください。

飛び出し寸法：14～20mm（吊りアーム部）
20～25mm（ベースフレーム部）



- ③ ベースフレーム [B-1] を取り付けます。
アンカー（オプション）にて固定します。勾配（2.5°）を確認してください。

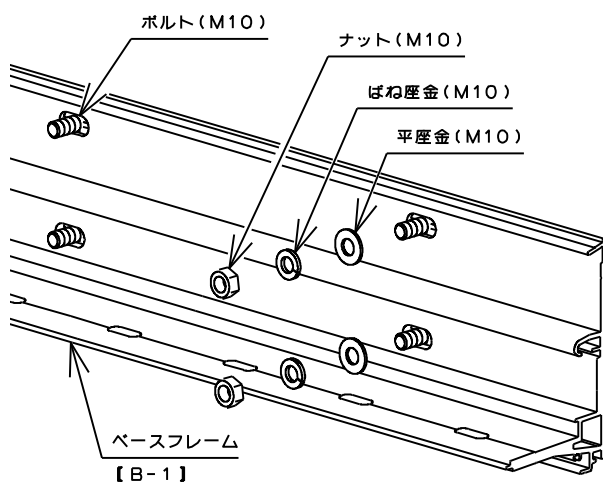
注意

必ず水平器を使用し勾配を確認してください。水漏れの恐れがあります。
アンカーの周囲は必ずシーリングを充てんしてください。

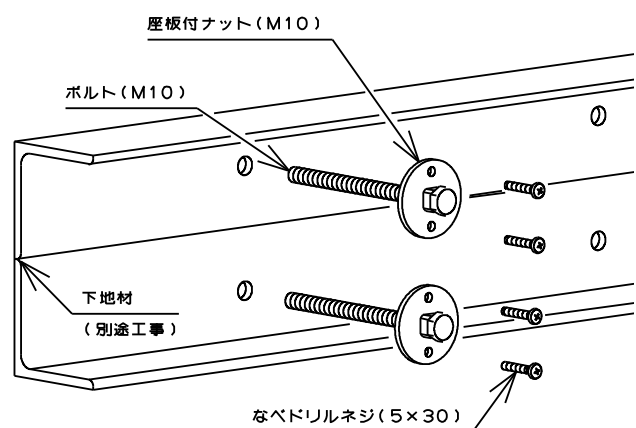
用意するもの

- ・ベースフレーム [B-1]
- ・アンカー(オプション)

貫通ボルト（オプション）取付
（外壁屋外側）



座板付ナット(オプション)取付
（外壁屋内側）



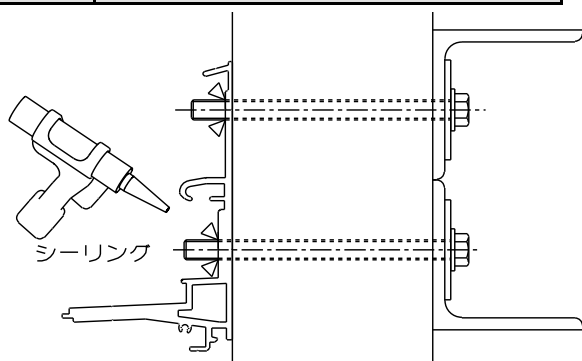
施工上のお願い

- ・ひさしの取付部分には必ず十分な強度を要する下地材の補強をしてください。また下地材は構造体から補強してください。
- ・壁面、補強下地の強度の確認をお願いいたします。
- ・躯体への漏水対策は必ず行って下さい。また外壁のつずれ防止対策は行ってください。
- ・ボルト・ナットのゆるみ止め対策は必ず行ってください。
- ・下穴には必ずシーリング材を充てんしてください。

▲注意事項▲

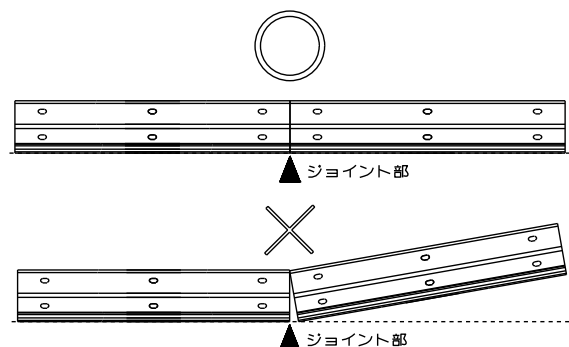
●アンカー取付部分のシーリングについて

注 意 ボルト孔とベースフレームの丸穴部は必ずシーリングしてください。



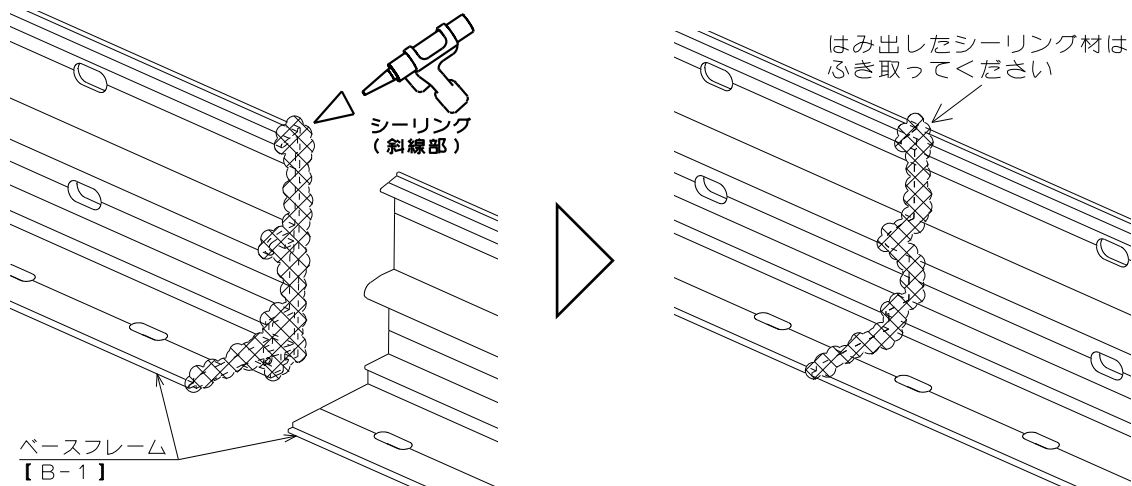
●ベースフレームの取付が2分割以上になる場合

ジョイント部が谷にならないようにしてください。
必ず水平器を使用し、水平を確認してください。



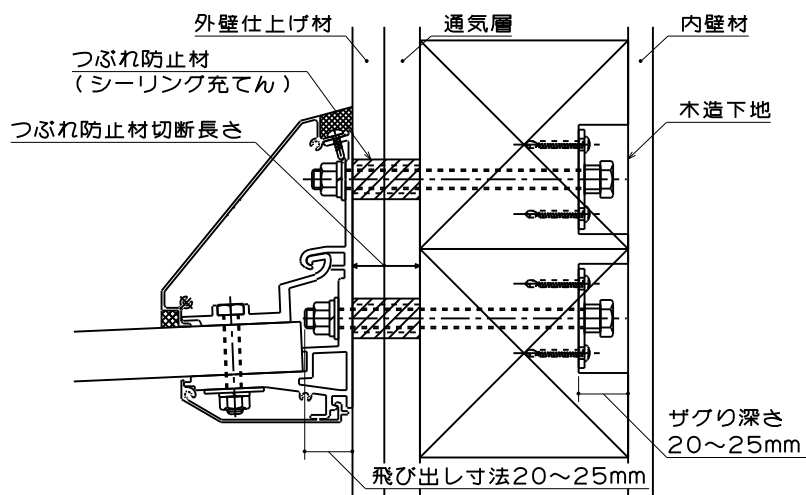
●ベースフレームの取付が2分割以上になる場合

注 意 ジョイント部から水漏れする恐れがある為、突きつけ部分は必ずシーリングしてください。
突き付け後、はみ出したシーリング材はふき取ってください。



●木造建築に取り付ける場合

木造建築にベースフレームを取り付ける時は、つぶれ防止材(オプション)を外壁仕上げ材から下地までの有効幅の長さに切断し使用してください。つぶれ防止材の内側、つぶれ防止材と外壁仕上げ材の隙間は必ずシーリングしてください。

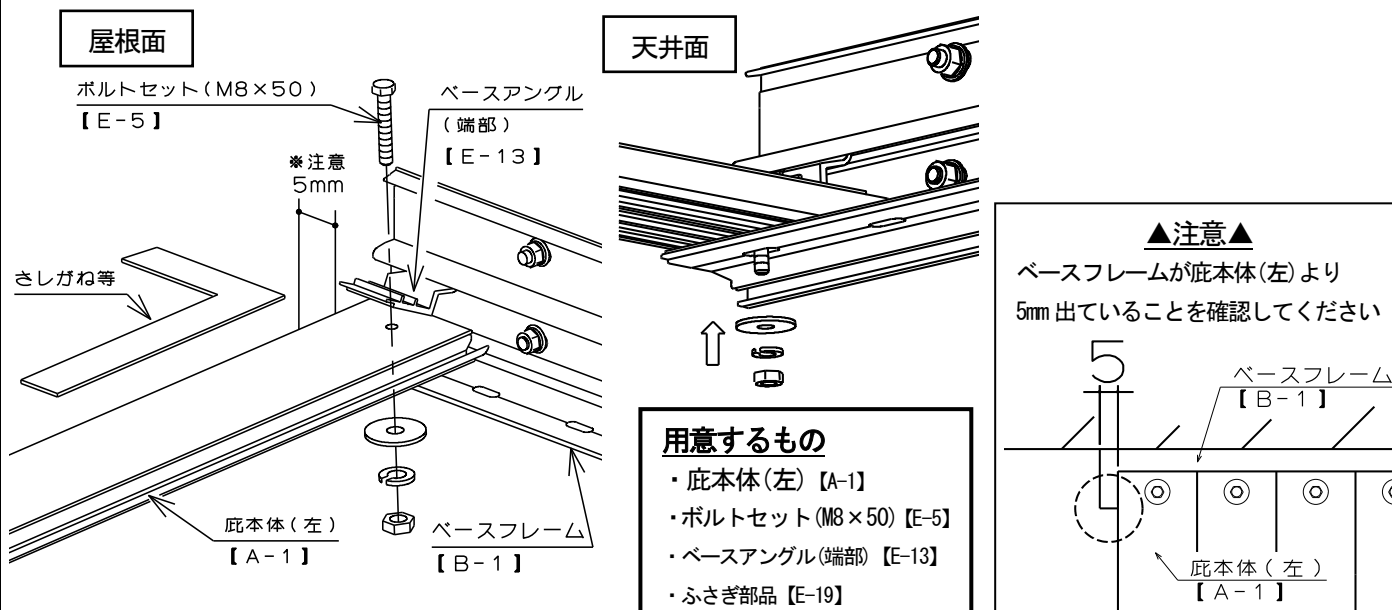


④ 庇本体(左)【A-1】を取り付けます。

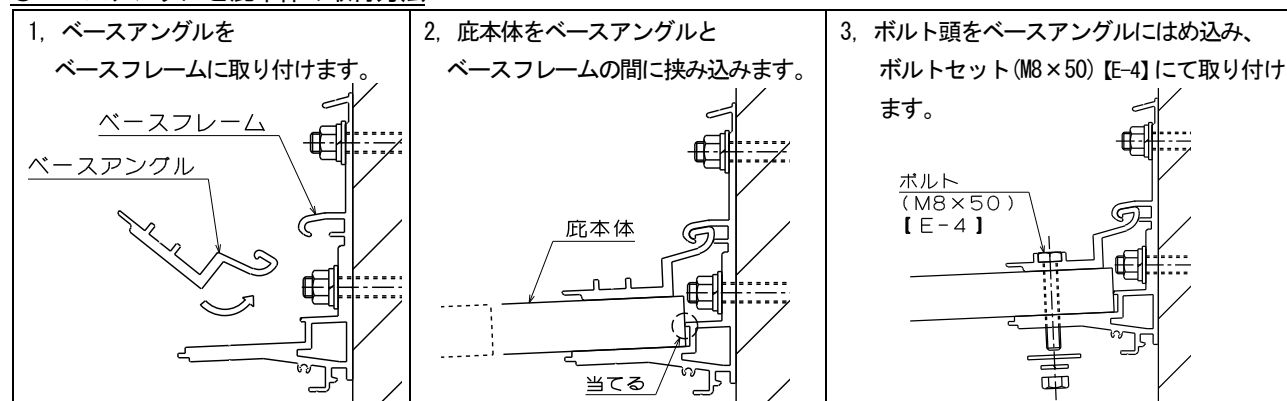
あらかじめベースアングル(端部)【E-13】をベースフレーム【B-1】に取り付けます。庇本体(左)をベースフレーム側面に当てた後、ベースアングルで挟み込み、ボルトセット(M8×50)【E-5】にて取り付けます。この時、庇本体(左)とベースフレームが直角になっていることを確認してください。

注 意

必ず庇本体とベースフレームが直角になっていることをさしがね等を使い確認してください。
庇本体は線状模様が天井面になるように向きを確認してください。



●ベースアングルと庇本体の取付方法

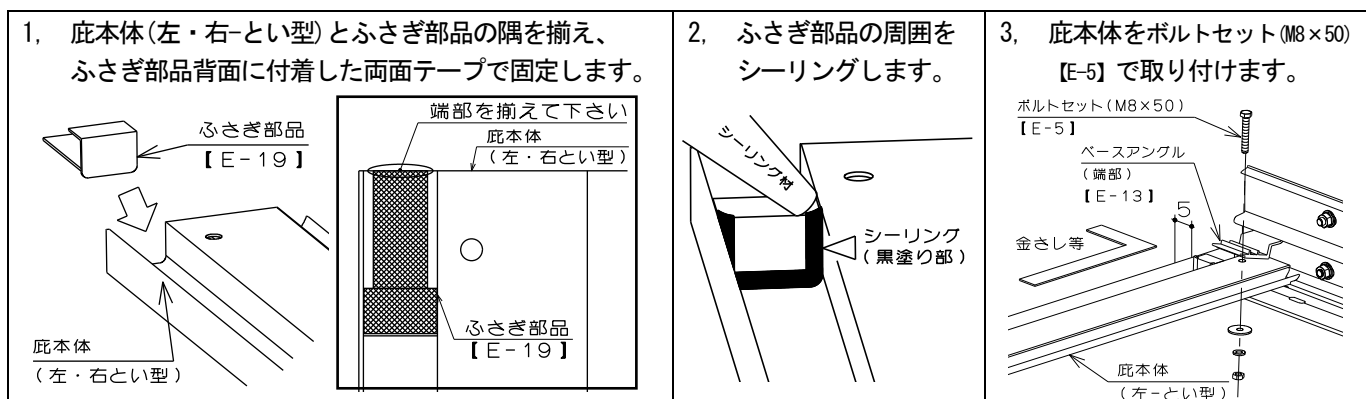


●先端形状が大型雨樋型の時の庇本体の取付について

庇本体(左・右-とい型)はふさぎ部品【E-19】を取り付けてからベースフレームに取り付けます。ふさぎ部品の周囲は必ずシーリングしてください。また、庇本体とベースフレームが直角になっていることを確認して取付してください。

注 意

ふさぎ部品取付後、ふさぎ部品と庇本体(左・右-とい型)の隙間部に必ずシーリングを充てんしてください。

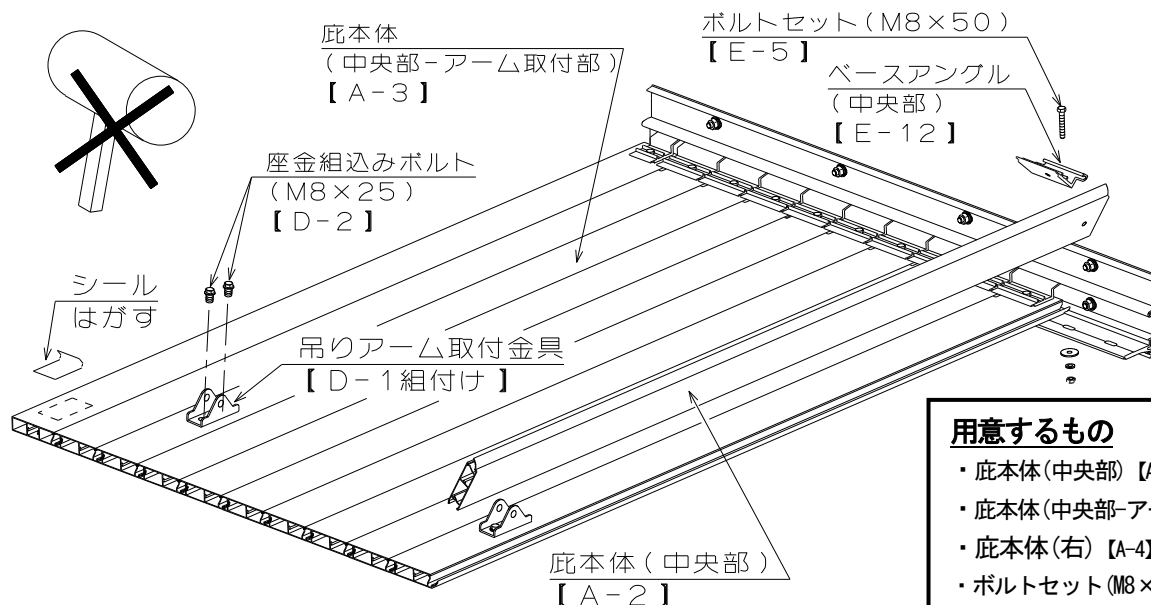


- ⑤ 底本体(中央部)【A-2】・底本体(中央部-アーム取付)【A-3】・底本体(右)【A-4】を取り付けます。
 あらかじめベースアングルをベースフレームに取り付けます。底本体(左)をベースフレーム側面に当てた後、ベースアングルで挟み込み、ボルトセット(M8×50)【E-5】にて取り付けます。この時、底本体(左)とベースフレームが直角になっていることを確認してください。

注 意

底本体には番号がついていますので番号順に取り付けてください。
 必ず底本体とベースフレームが直角になるように10本に1回程度確認しながら取り付けてください。
 底本体同士の目地が目立たなくなるように、パネル同士を押しながら取り付けてください。

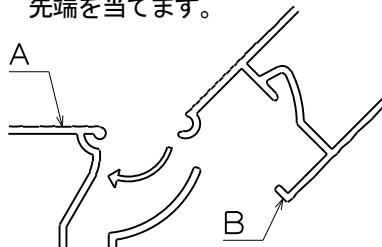
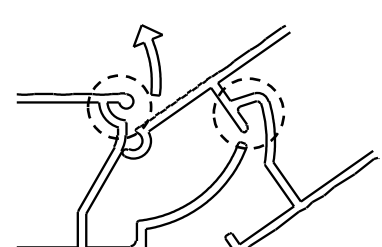
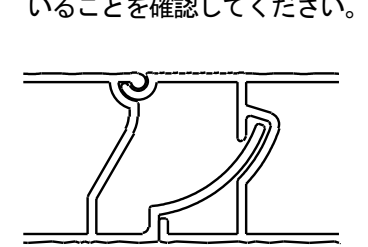
割付図により底本体(中央部-アーム取付部)【A-3】を取り付けてください。底本体(中央部-アーム取付部)にはあらかじめアーム取付金具【D-1に組付】を座金組込みボルト(M8×25)【D-2】にて取り付けてください。
 製品幅W寸法を確認後、シールは取り外してください。

**用意するもの**

- ・底本体(中央部)【A-2】
- ・底本体(中央部-アーム取付)【A-3】
- ・底本体(右)【A-4】
- ・ボルトセット(M8×50)【E-5】
- ・吊りアーム取付金具【D-1組付け】
- ・座金組込みボルト(M8×25)【D-2】

●底本体の取付方法

底本体同士は回転しながら取り付けます。木槌やハンマー等は使用しないでください。

- 1, ベースフレームに取り付けられた底本体Aの側面部に底本体Bの先端を当てます。

- 2, 底本体Bを矢印の方向に傾けていき、両部材の凹部にはめ込みます。

- 3, 取付完了
 底本体同士が正しく固定されていることを確認してください。


▲注意▲

底本体の先端が隙間なく揃っていることを確認してください。先端が揃っていない場合、先端カバーの取付に支障がでる可能性があります。



底本体
底本体
底本体
底本体



底本体
隙間
底本体



底本体
隙間
底本体

⑥ 吊りアーム [D-1] を取り付けます。

●アーム部 参考納まり図

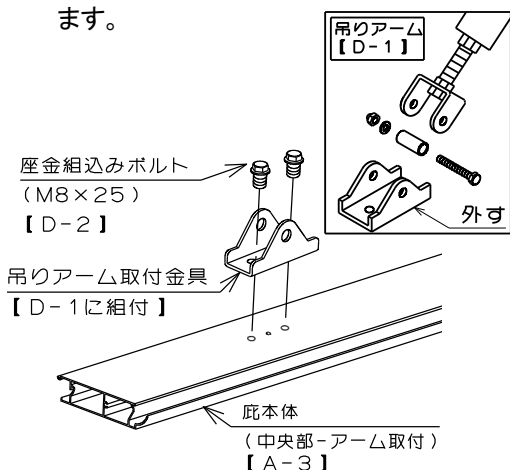
アーム横		アーム縦	
アンカー止め(RC 造)	貫通ボルト止め(下地材)	アンカー止め(RC 造)	貫通ボルト止め(下地材)

用意するもの

- ・吊りアーム [D-1]
- ・座金組込みボルト (M8×25) [D-2]
- ・袋ナットセット (M10) [D-3]

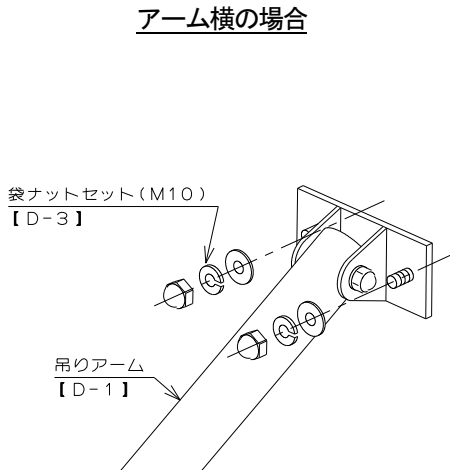
●吊りアーム取付方法

I 底本体(中央部-アーム取付部)【A-3】に吊りアーム取付金具【D-1に組付】を座金組込みボルト(M8×25)【D-2】にて取り付けます。

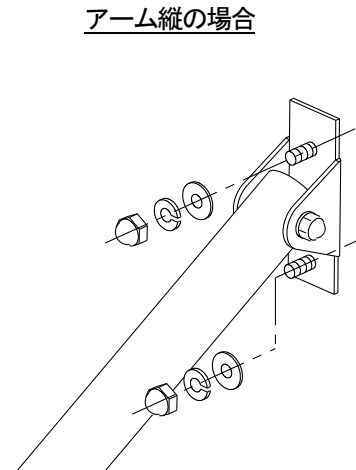


II 吊りアーム [D-1] を「本体取付方法②」のアンカーに取り付けます。袋ナットセット (M10) [D-3] でしっかり固定してください。

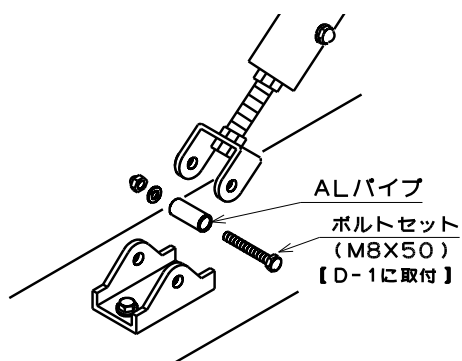
アーム横の場合



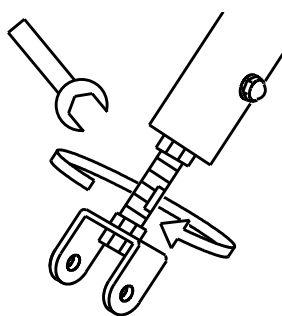
アーム縦の場合



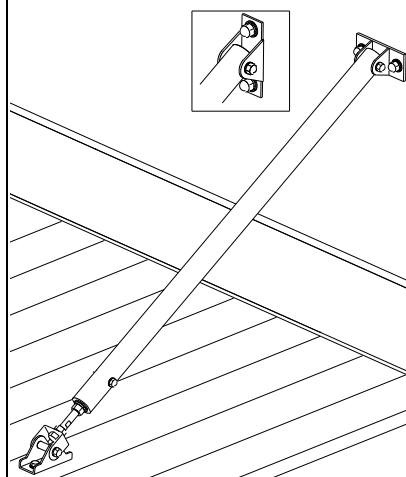
III 吊りアーム取付金具に、吊りアームを取り付けます。ボルトセット (M8×50) [D-1に組付] にて取り付けてください。底本体の勾配(2.5°)を確認しながら、ボルトナット等を固定してください。



※勾配を調整する時は、吊りアーム先端部のボルトをまわし吊りアームの長さを調整します。



IV 取付完了



▲注意事項▲

●製品幅 W=10100 以上の底本体の取付する場合

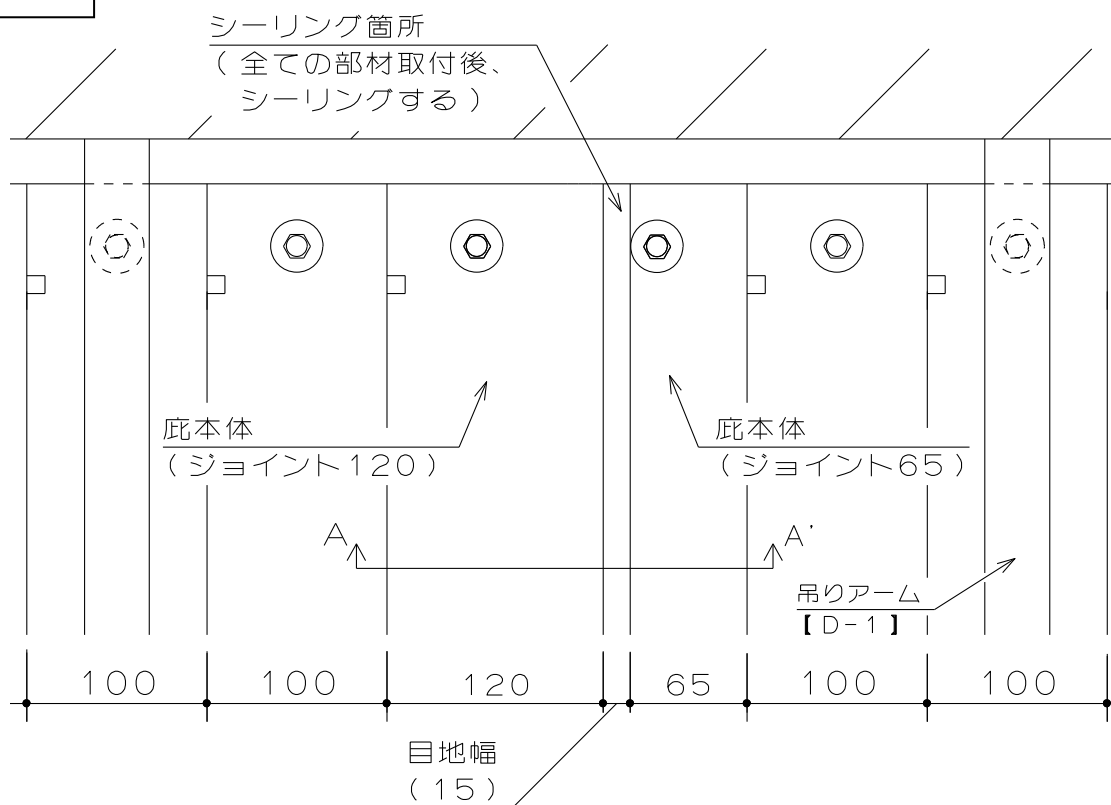
底本体ジョイント部で製品幅の寸法調整をおこなってください。

寸法調整後、底本体ジョイント部はバックアップ材等(別途)を使用しシーリングしてください。

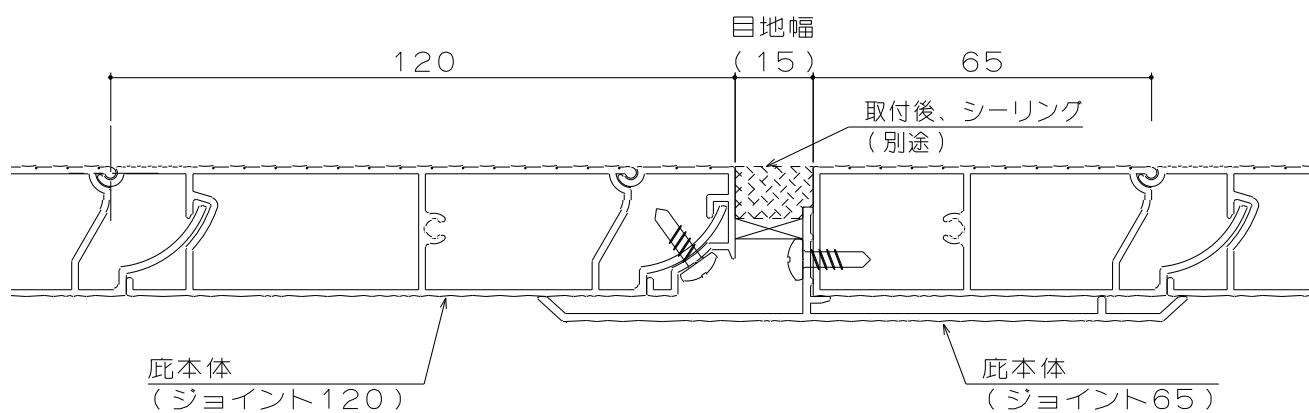
注意

底本体ジョイント部は必ずシーリングしてください。

平面図



A-A' 断面図



▲注意事項▲

●本製品が別製品（出入隅コーナー）と連続して取付される場合、

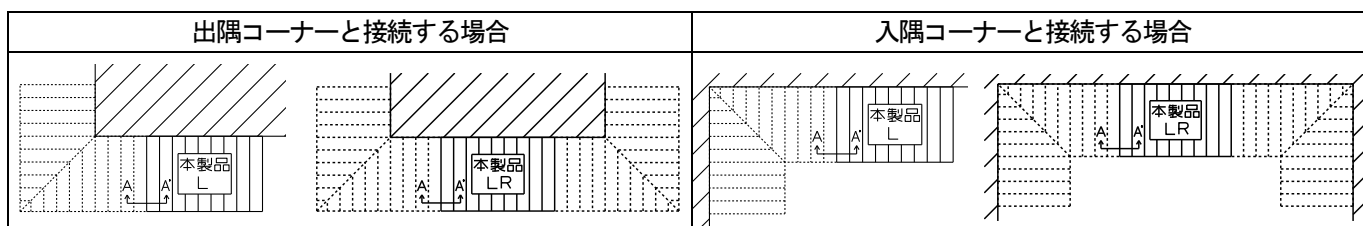
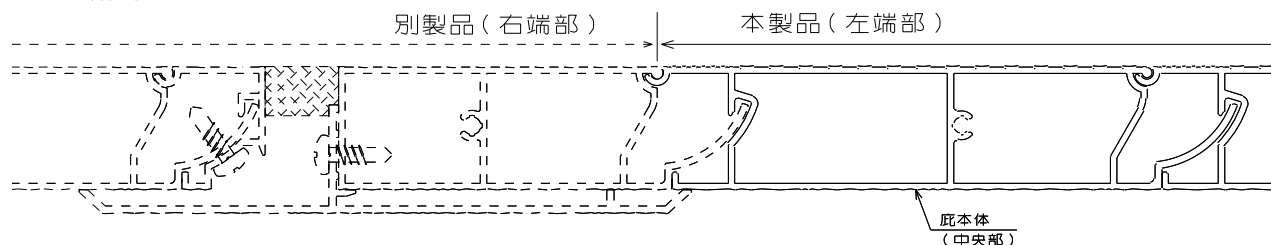
下の図のように取付してください。

注意	※本製品記号末尾にL・R・LRが付く時、底本体両端部の部材が下記変更となります。					
	変更内容					
	L・LRが付く時	底本体(左)	1本	→	底本体(中央部)	1本
	R・LRが付く時	底本体(右)	1本	→	底本体(ジョイント65)	1本

※底本体は番号順に取り付けしてください。
 ※底本体ジョイント部は前ページを参照し取り付けしてください。

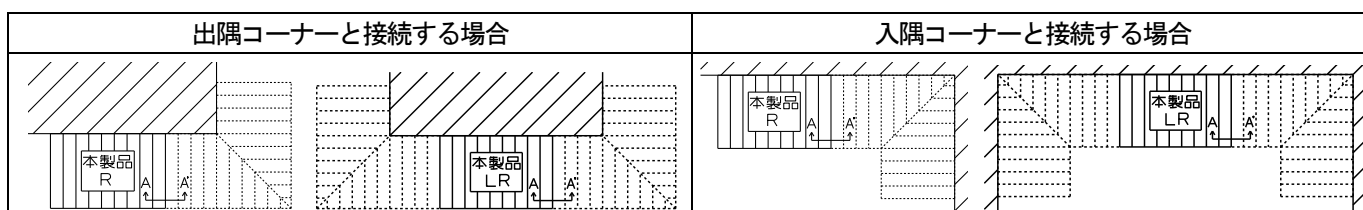
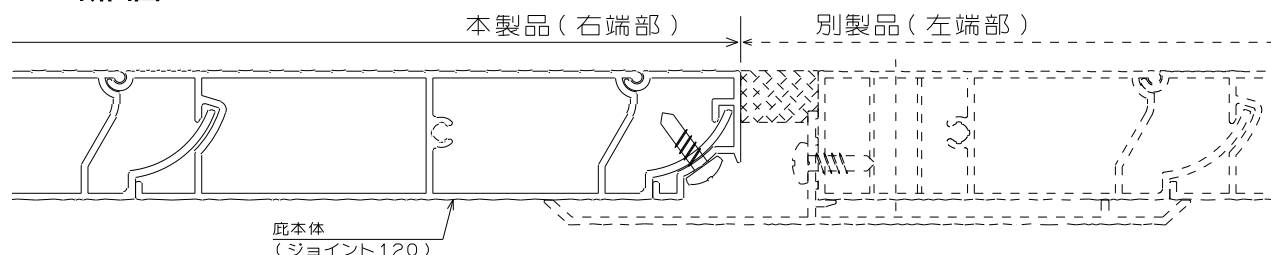
製品記号にL・LRが付く時の本製品左端部

A-A' 断面図

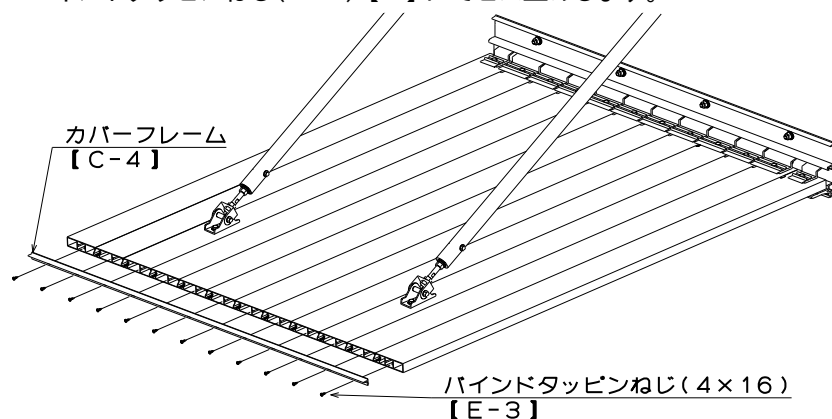


製品記号にR・LRが付く時の本製品右端部

A-A' 断面図

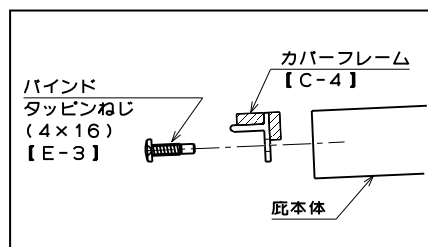


- ⑦ カバーフレーム【C-4】を取り付けます。
 バインドタッピンねじ(4×16)【E-3】にてビス止めします。

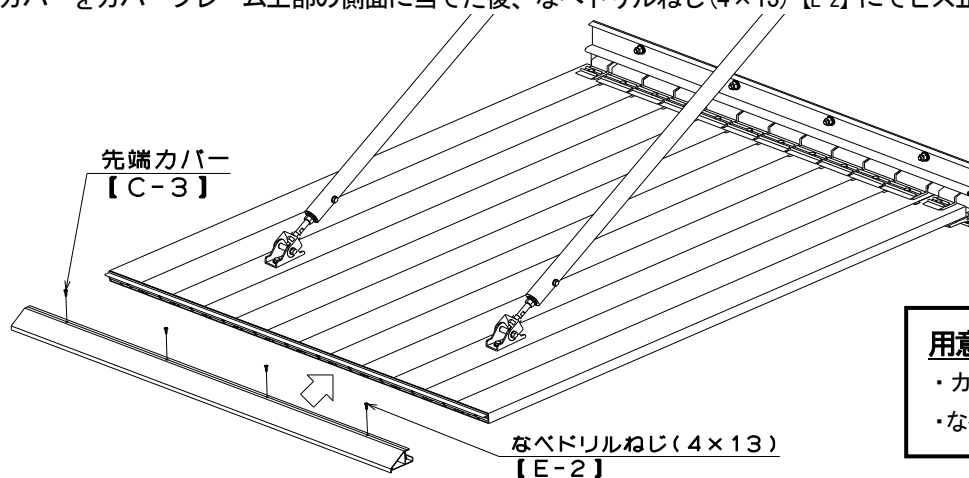


用意するもの

- ・カバーフレーム【C-4】
- ・バインドタッピンねじ(4×16)【E-3】



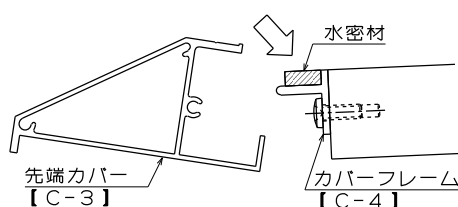
- ⑧ 先端カバー【C-3】を取り付けます。
 先端カバーをカバーフレーム上部の側面に当てた後、なべドリルねじ(4×13)【E-2】にてビス止めします。



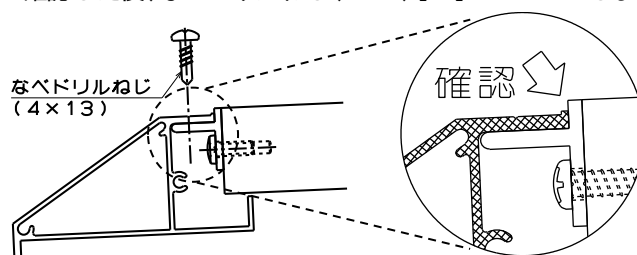
用意するもの

- ・カバーフレーム【C-3】
- ・なべドリルねじ(4×13)【E-2】

- 1, 先端カバー【C-3】はカバーフレーム【C-4】上部の水密材を潰すように当てます。



- 2, 先端カバーがカバーフレーム側面に当たっていることを確認した後、なべドリルねじ(4×13)【E-2】でビス止めします。

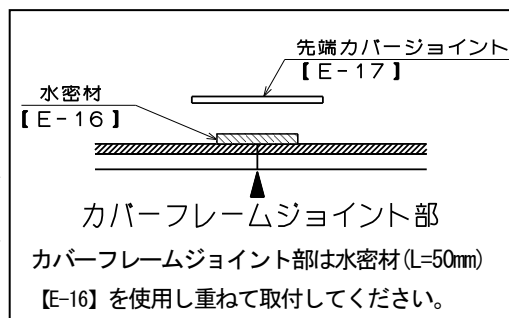
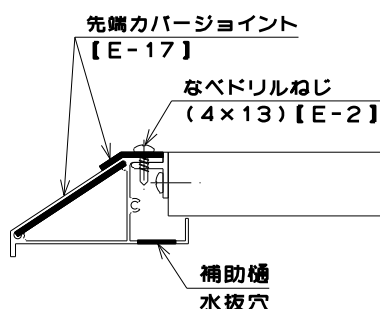
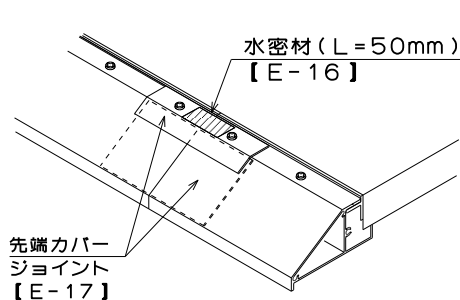


▲注意事項▲

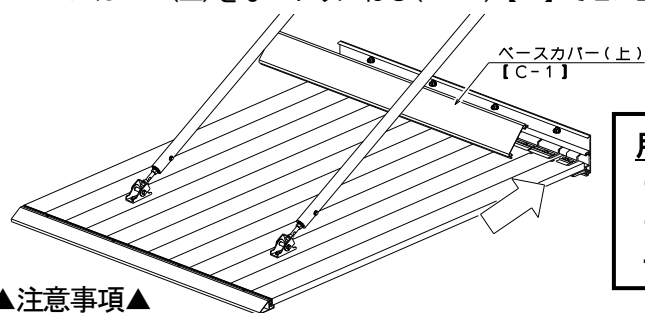
W=4100以上の時は先端カバーの種類に応じたジョイント材を使用し取り付けてください。

(別ページ 先端カバージョイント仕様参照)

〔 下記は三角型(D型)の取付方法 〕

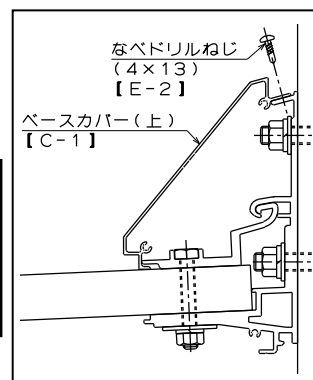


- ⑨ ベースカバー(上)【C-1】を取り付けます。
 ベースカバー(上)をなべドリルねじ(4×13)【E-2】でビス止めします。(500 ピッチ程度)



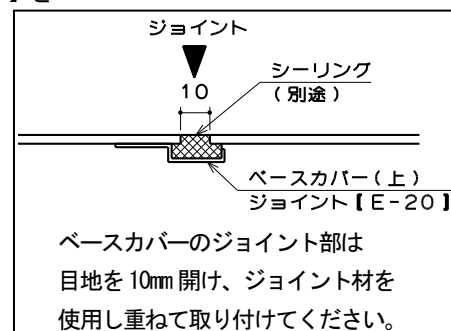
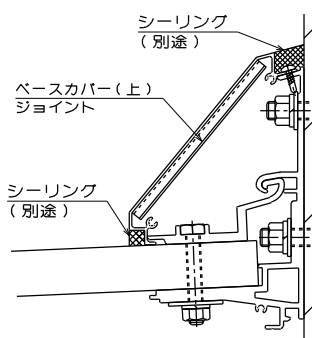
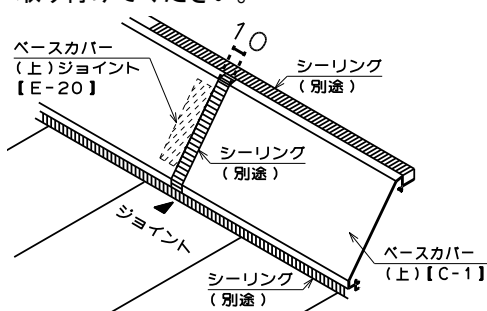
用意するもの

- ・ベースカバー(上)【C-1】
- ・なべドリルねじ(4×13)【E-2】
- ・ベースカバー(上)ジョイント【E-20】

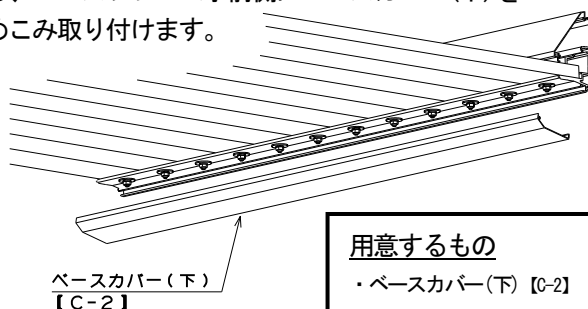


▲注意事項▲

W=4100 以上の時、ベースフレーム(上)裏側にベースカバー(上)ジョイント【E-20】を取り付けてください。

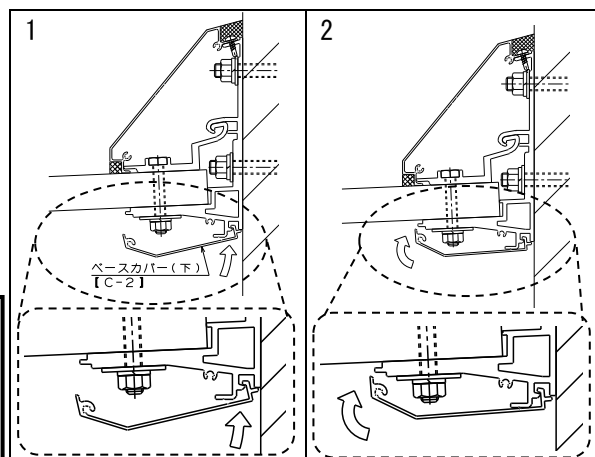


- ⑩ ベースカバー(下)【C-2】を取り付けます。
 ベースフレーム【B-1】躯体側にベースカバー(下)を引っ掛けてから、ベースフレーム手前側にベースカバー(下)をはめこみ取り付けます。



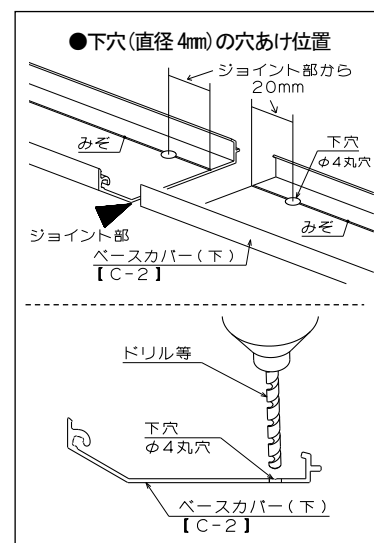
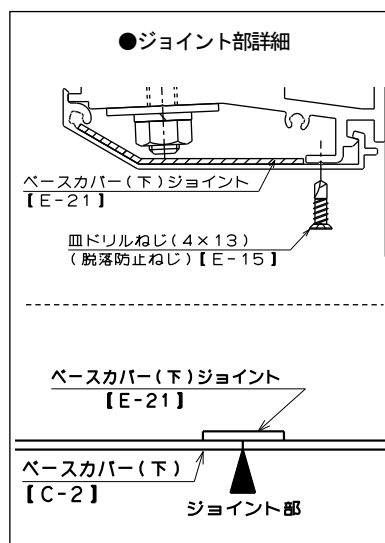
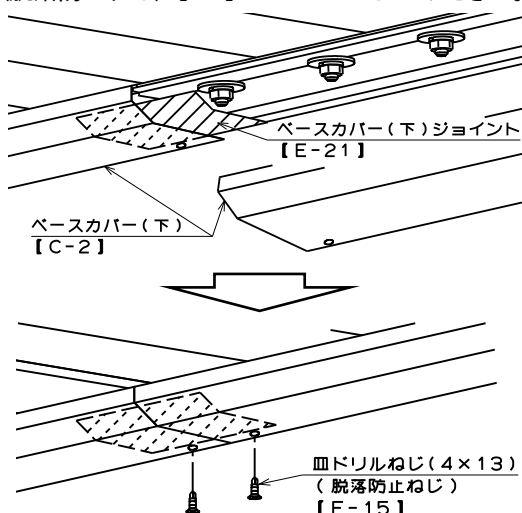
用意するもの

- ・ベースカバー(下)【C-2】
- ・ベースカバー(下)ジョイント【E-21】
- ・皿ドリルねじ(脱落防止ねじ)【E-15】



▲注意事項▲

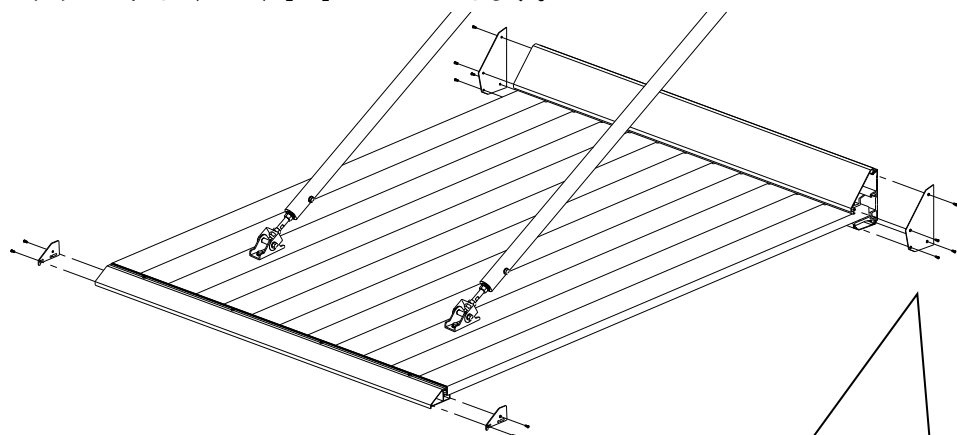
W=4100 以上の時は、ベースカバー(下)ジョイント【E-21】をベースカバー(下)【C-2】の内側にテープで圧着し固定してください。あらかじめ、みぞ上のジョイント部から20mmの位置に直径4mmの下穴を開け、皿ドリルねじ(4×13)(脱落防止ねじ)【E-15】でビス止めしてください。



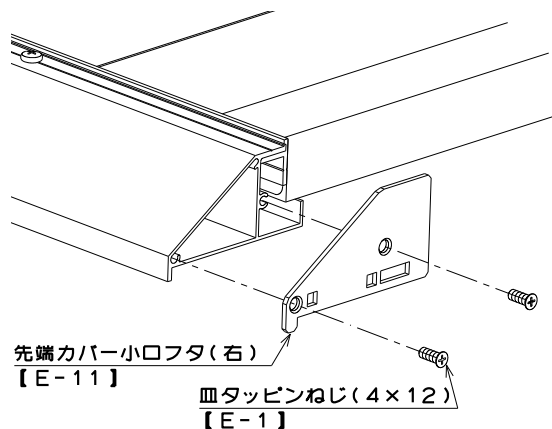
- ⑪ 小ロフトを取り付けます。
ベースフレーム小ロフト(左・右)【E-8・E-9】と先端カバー小ロフト(左・右)【E-10・E-11】を
皿タッピンねじ(4×12)【E-1】でビス止めします。

用意するもの

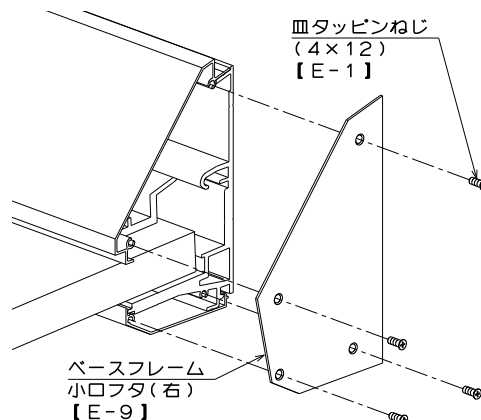
- ・ベースフレーム小ロフト(左)【E-8】
- ・ベースフレーム小ロフト(右)【E-9】
- ・先端カバー小ロフト(左)【E-10】
- ・先端カバー小ロフト(右)【E-11】
- ・皿タッピンねじ(4×12)【E-1】



先端カバー小ロフト【E-10・E-11】取付



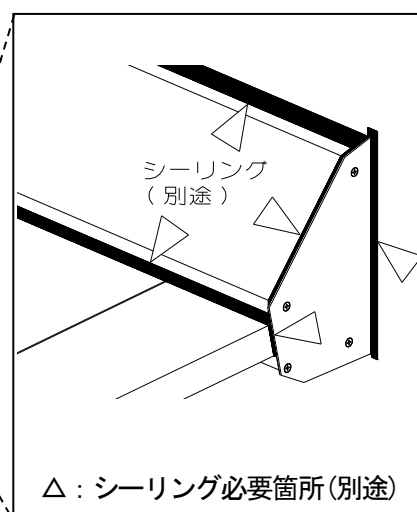
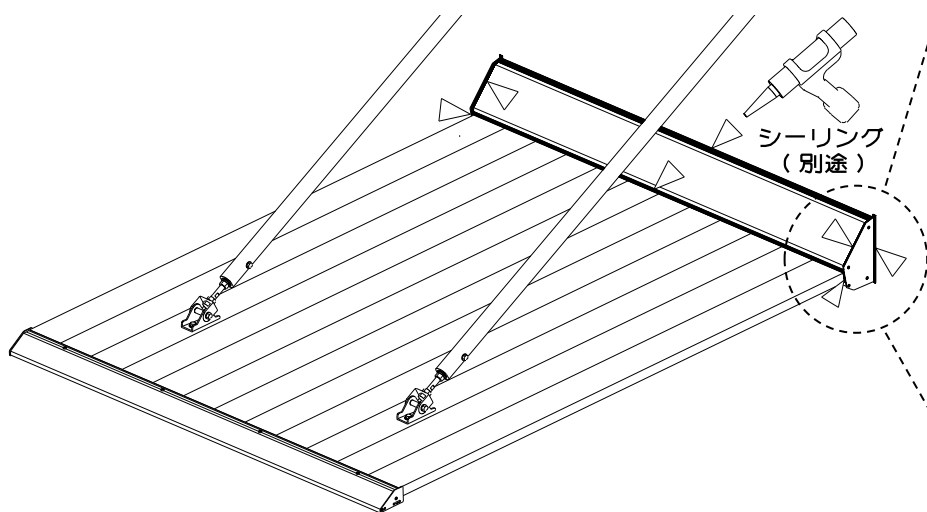
ベースフレーム小ロフト【E-8・E-9】取付



- ⑫ 最後に底全体のシーリング(別途)をします。
シーリングが乾いたら完成です。

注 意

必ずシーリングを充てんしてください。
雨漏りの原因となります。



理研軽金属工業株式会社